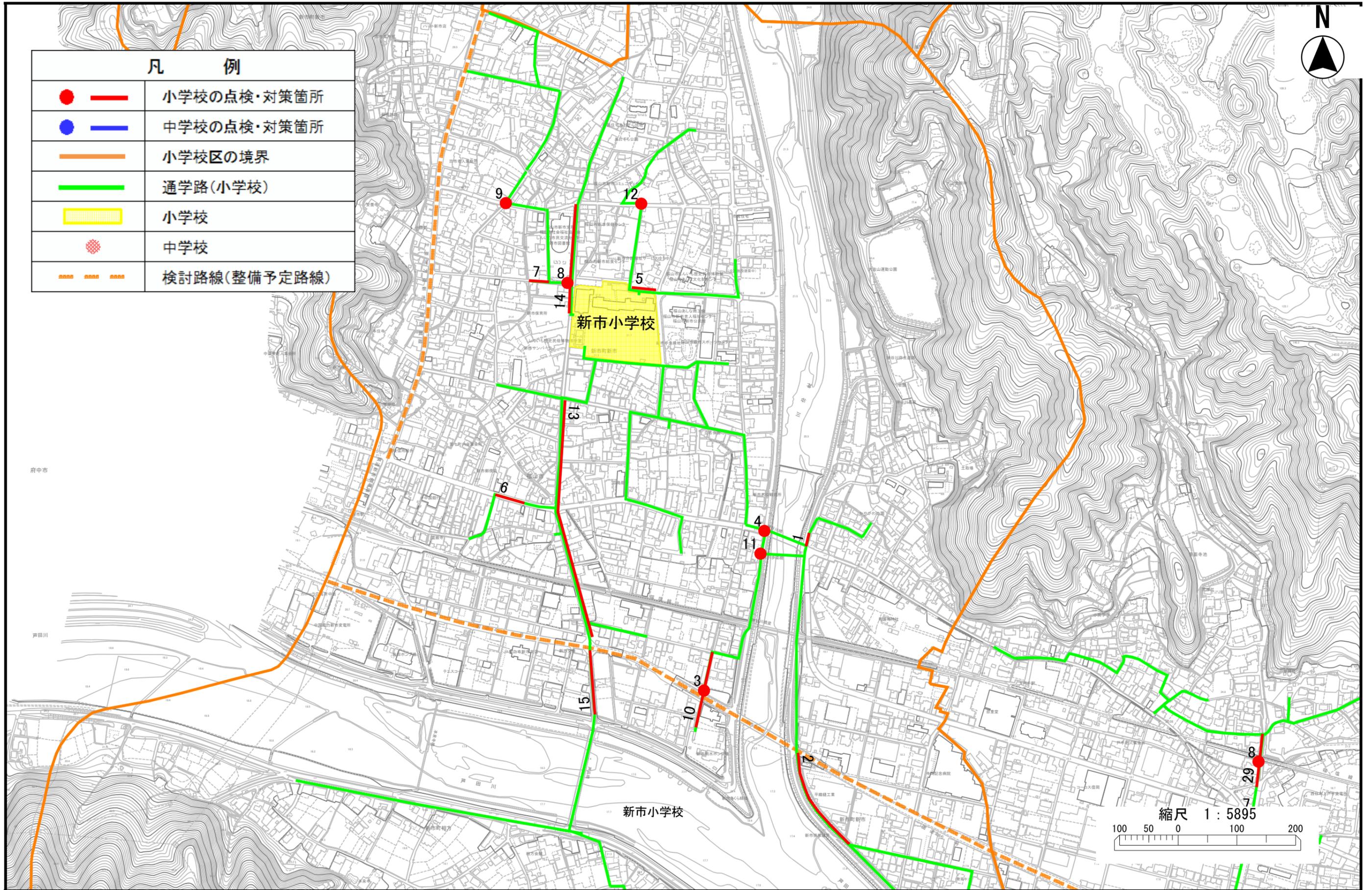


# 新市小学校

凡 例	
	小学校の点検・対策箇所
	中学校の点検・対策箇所
	小学校区の境界
	通学路(小学校)
	小学校
	中学校
	検討路線(整備予定路線)



学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
新市小	1	2022	歩道（路肩）が狭い。 信号待ちで並んでいるときに、車が近い。 特に、雨の日は、傘が車に当たりそうになる。	【市】 停止線の修復 【学校・地域】 児童生徒への交通安全教育の実施	全て対応完了	
新市小	2	2022	登校時間帯に、486号線への抜け道として、車が通り抜けるので危ない。	【市】 路面標示（減速）の設置	全て対応完了	
新市小	3	2022	トンネル出入り口横に道路があり、曲がってくる車から見えにくい。 また、スピードを出して走る車もあり、道幅も狭い。	<del>【市】</del> 転落防止柵の設置 →要望の取り下げ	経過観察	③と⑩は一連の箇所 【学校・地域】 現在、市の建設産業課と町内会と連携中。対策課題について継続検討中→要望の取り下げ(2024.3末)
新市小	4	2022	信号待ちの際、中学生の自転車と一緒にになり、待つスペースが狭くなって危ない。 交通量は登下校時も多い。	【学校・地域】 地域・保護者への啓発 児童生徒への交通安全教育の実施	全て対応完了	
新市小	5	2022	歩道が狭い。	【県】→【市】 歩道の設置・拡幅（水路蓋掛け含む） 路側帯のカラー舗装化	対応中	【県】 市道であるため市で対応

学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
新市小	6	2022	歩道の側溝の蓋が外されている。 特に、車が多く、スピードを出して 通り過ぎるので、必然的に側溝寄り を歩くため、児童が何度か穴に落ち た。	【県】 歩行者の安全を確保するための改 修工事を実施	対応中	2021年度から2025年度までの工期で、道路改修を 行っている（県の事業計画にも組み込まれている）
新市小	7	2022	歩道と車道が区分されていない。 また、歩道の横は深い溝のため、危 険である。	【市】 外側線の新設 【学校・地域】 通学路の変更	全て対応完了	
新市小	8	2022	ミラーはあるが、見通しが悪い。 時速30kmの制限区域なのに、そこ そこスピードを出して走っている。	【警察】 「30」の規制標識の設置	全て対応完了	【警察】 2022年度内1枚増設完了 （要望区間350m内に5枚あり）
新市小	9	2022	ミラーはあるが、見通しが悪い。 （児童は北から交差点に進入） 車がスピードを出して走っている。	【学校・地域】 通学路変更の検討→検討結果変更 しない 児童生徒への交通安全教育の実施	全て対応完了	
新市小	10	2022	用水路転落の危険性が大きい。	<del>【市】</del> 転落防止柵の設置 →要望の取り下げ	経過観察	③と⑩は一連の箇所 →要望の取り下げ(2024.3末)

学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
新市小	11	2022	交差点ではないので、運転手が横断歩道に気付きにくい。	<b>【警察】</b> 横断歩道の修復 <b>【学校・地域】</b> 通学路の確認	全て対応完了	
新市小	12	2022	横断歩道がないので、車と接触する恐れがある。 学校方面から交差点に入って左折する運転手からも、道路を横断する児童に気付きにくい。	<b>【市】</b> 路面標示（赤色顔料の使用）の設置 <b>【学校・地域】</b> 児童生徒への交通安全教育の実施	全て対応完了	
新市小	13	2022	路肩が狭いうえ、車道の幅も狭い。その道路状況で、地元の人も多く利用するとともに、支所に向かう道路となっており、道路状況を十分把握していない利用者も多く通る道路となっている。 その状況の中、67人と多くの児童が通学するため、車と児童が接触しそうになることもあり、危険である。	<b>【市】</b> グリーンベルト（東側）の設置	全て対応完了	

学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
新市小	14	2022	箇所番号13から延伸している道路である。 本校の近隣には、新市保育所、新市支所、新市図書館、新市公民館などの利用者が多く通る道路がある。時速30km規制（ゾーン30）を知らない利用者もいると思われ、一定以上のスピードを出している車が通っていて、危ない。	【市】 グリーンベルト（西側・東側）の設置	全て対応完了	
新市小	15	2022	転落防止用の安全柵の腐食が激しく、基準高（1.1m）に満たないことから、児童が転落する危険性がある。	【市】 転落防止柵の改修	対策内容決定	転落事故防止事業にて対応